

* 前期比：D I・季節調整済

景況

業況は-25と前期より2ポイント下降し、悪化傾向を強めました。売上額は-12と15ポイント下降し、上昇傾向から減少傾向に転じました。収益は-35と13ポイント下降し、減少傾向を強めました。価格面では、料金価格は-33と39ポイント下降し、大きく下降傾向に転じました。材料価格は57と15ポイント下降し、上昇傾向を弱めました。資金繰りは-44と20ポイント下降し、さらに窮屈感を強めました。残業時間は-17と27ポイント下降し、減少傾向に転じました。人手は-15と1ポイント下降しましたが、大きな変化はありません。設備の状況は-7と9ポイント上昇し、不足感を弱めました。設備投資については、車両を中心に36%の先が実施し、前期より28ポイント増加しました。

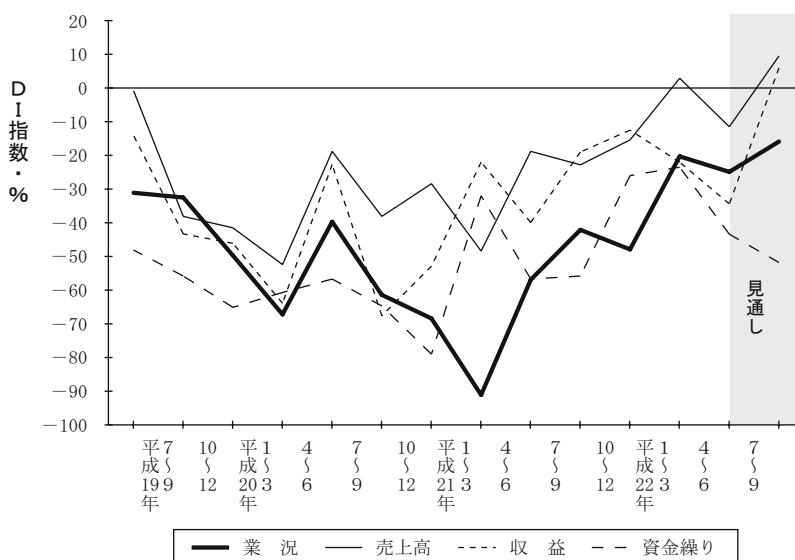
来期の見通し

業況は-16と9ポイント上昇し、悪化傾向を弱めそうです。売上額は9と21ポイント、収益は6と41ポイント上昇し、上昇傾向に転じるとみえています。価格面では、料金価格は-18と15ポイント上昇し、下降傾向を弱めるとみており、材料価格は44と13ポイント下降し、上昇傾向は弱まるとみえています。資金繰りは-52と8ポイント下降し、窮屈感が強まる状態は続きそうです。残業時間は12と29ポイント上昇し、増加傾向に転じるとみえています。人手は9と24ポイント上昇し、過剰に転じるとみえています。設備の状況は-5と2ポイント上昇しそうですが、大きな変化はなさそうです。設備投資については、事業用土地建物などで、9%の実施予定とし、今期の反動からか27ポイント減少となりそうです。

調査員のコメント

- 地元経済・景気に左右される傾向があり、収益確保のため、他業種への参入を視野に入れている。
(タクシー業)
- 収益確保のため、新規事業への設備投資を行っており、今後に期待できる。
(一般運送業)

景況の推移



主な指標の動き

